

令和5年6月15日(木)

第1回進路説明会資料

「確かな進路のために」

～目的意識をもって進路を選択し、自分を大きく育てよう～

目次

1	進路とは・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 1
2	進路を決定するには・・・・・・・・	p. 1
3	就職を選択する場合・・・・・・・・	p. 2
4	進学を選択する場合・・・・・・・・	p. 3
5	広島県内の高等学校(高専)	p. 5
6	学科の概要・・・・・・・・	p. 6
7	入学者選抜(入学試験)のしくみ.....	p. 7
8	公立高校入学者選抜 学校別志願状況 ..	p. 13
9	奨学金制度について・・・・・・・・	p. 14
10	令和5年度の高校の学費・・・・・・・・	p. 14
11	広島県公立高等学校入学者選抜日程 ..	p. 15
12	広島県私立高等学校入学試験日程 ..	p. 16
13	推薦基準について・・・・・・・・	p. 17
14	進路関係の今後の取組日程	p. 18
資料	「学費負担を軽減する制度」	p. 19

呉市立郷原中学校

3年 ____ 組 ____ 番 名前 _____

1 進路とは

「進路」という言葉の意味するもの

- ① 中学校卒業後、どの道に進むのか(中学卒業後の進学先や就職先の選択)。
- ② 将来、何になろうとするのか(将来の職業の選択など)。
- ③ 将来に向かって、どのような生き方をしていくのか(生き方や価値観の選択など)。

このように、いろいろな意味で「進路」という言葉が使われています。

『進路』の学習というのは、中学校を卒業するとき就職するのか、進学するのか、どこに就職するのか、どこに進学するのかだけを考えればよいというものではありません。「現在の自分」をよく知り、そこから将来のことを考えていくこと、自分の夢・希望をもち、その夢・希望を実現していくために「現在の自分」のあるべき姿を考えていくことが必要です。

大切なことは、「しっかり考える」ことです。そして、「前向きに努力していく」ことです。目の前に不安があれば、それを一つ一つ取りのぞいていく努力をしていくことが大切であると考えます。

今、すぐに結論をだす必要はありません。“進路の選択”は、これからが始まりです。もしかすると、生涯この“進路の選択”をし続けていくことになるかもしれません。

2 進路を決定するには

(1) 進路決定の流れ(中学校卒業後～進路決定まで)

◎学校制度について…全日制課程に進学の場合

一般的な例			就職や再就職などのキャリアの確定						
			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
年齢	6才	12才	15才	18才	20才	22才	24才	27才	...
校種名	小学校	中学校	高校	大学		大学院 修士	大学院 博士	学び直し等	
				短期大学	学び直し等				
			高等専門学校	専攻科					
修業年数	6年	3年	3年	2年	2年	2年	3年	...	

(2) 自分の進路設計をする

(中1) [自分を知り進路計画を立てる]

- 将来どんな方向に進みたいか(将来を見通した進路の選択)を考える
- 自分の特徴(能力・適性・性格等)を知る
- 目標達成のための課題を明らかにする

(中2) [進路を研究する]

- 希望職業が求める能力・適性を知る
- 希望職業実現への道筋を知る
- 変化する社会の実像に迫る

(中3) [進路を選択する]

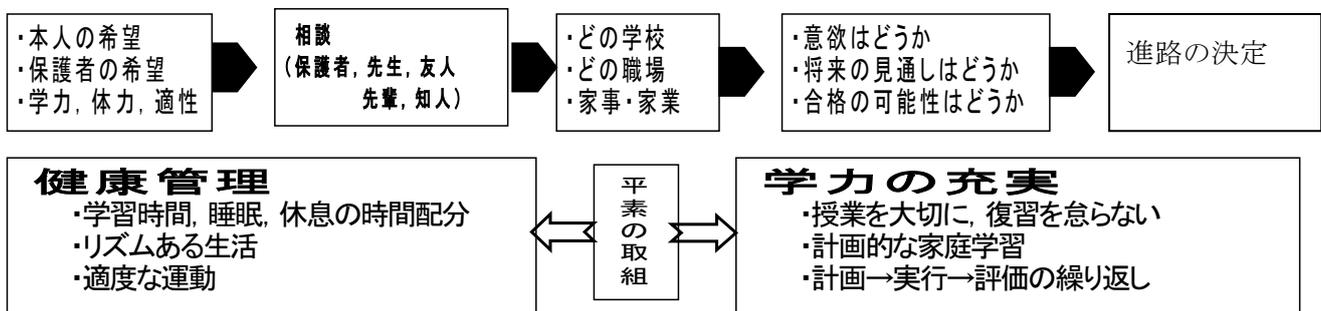
- 目標を意識して生活する
- 保護者の希望、家庭の事情等をふまえ、家族としっかり話し合う
- 希望をはばむ諸条件があれば明らかにする
- 自らの意志で進路先を決定する

色々な職業とその社会的役割について調べる。

学校の種類や特色を調べる。

就職・進学のためにはどんな準備が必要かを考える。

中学校卒業後の具体的な進路 (輝かしい自分の未来をめざして)



3 就職を選択する場合

(1) 職業相談及び職業紹介の流れ

(中学校での進路指導) ・職業相談票の作成・職業適性検査の実施 ・保護者に対する職業相談への出席要請	○ 求人情報の提供 ○ 職業情報の提供 ○ 就職に対する意識啓発
職業相談の実施 (11月中旬～)	○ 保護者、学校との連携 ○ 希望する進路についての具体的な相談 ○ 職業相談票の受理
← 職場見学・求人開拓の実施	
応募事業所の決定・応募	○ 公共職業安定所(ハローワーク)より応募事業所へ 応募書類を送付(1月1日以降)
採用選考の実施	○ 採用選考日時及び場所については、本人(保護者)、事業所、 学校、安定所の4者で協議のうえ決定(1月1日以降) ○ 採用選考当日は、保護者又は学校の同伴により実施
就業と赴任	○ 入職日及び赴任方法については、本人(保護者)、事業所 及び学校の3者で協議のうえ決定(卒業時以降)
就職後の定着指導	○ 採用後1～2か月以内に事業所訪問により実施

(2) 高等技術専門校について(昨年のデータ)

① 高等技術専門校とは?…職業に就くために必要な知識・技術・技能を習得するための施設

② 応募方法等

応募者	新規卒業見込者	求職者
提出先	志望する高等専門校	住所地の公共職業安定所
提出書類	・入学願書、封筒2枚 ・自動車整備科は高等学校卒業または同等以上の学力を有することを証明する書類	
選考会場	志望する高等専門校	
選考時携行品	・全校共通：入校選考通知書・筆記用具・消しゴム ※福山・三次校：靴袋	

③ 選考方法

・筆記試験(国語・数学(計1時間程度))及び面接により、訓練の必要性等を総合的に評価し、可否を判断されます。

④ 授業料など

	1年課程・2年課程		6ヶ月課程
	18歳未満	18歳以上	
選考料	不要	2,200円	不要
入校料		5,650円	
授業料		年118,800円	
実習教材費	4万～9万円：教科書・作業服代等で志望科により異なります。		
取得可能資格の受験料	別途必要(無料のものもあります)		

⑤ 取得可能な資格(下記は例です。学校によって異なります)

○JIS溶接技能者評価試験 ○玉掛け技能講習修了証 ○ガス溶接技能講習修了証 ○クレーン運転特別教育修了証
○ワープロ検定3級 ○危険物取扱者(乙種第四類) ○アーク溶接特別教育修了証

⑥ 広島県内の高等技術専門校

- 呉高等技術専門校
- 広島高等技術専門校
広島市西区田方二丁目25-1
- 福山高等技術専門校
福山市山手町六丁目30-1
- 三次高等技術専門校
三次市十日市南六丁目14-1

⑦ 呉高等技術専門校

- ①住所 呉市阿賀中央五丁目11-17
- ②電話 (0823)71-8816
- ③交通 先小倉バス停から徒歩3分。
- ④学科 溶接加工科,機械システム科,介護サービス科 CADワーク科
- ⑤受講時間 月～金曜日 8:35～15:35(16:25の日もある)

4 進学を選択する場合(原則、昨年度のデータです。本年度については要項等で確認が必要です)

(1) 高等学校について

① 設置者の違いによる分類

(ア) 国立…国立大学附属高校として独立行政法人が設立し経営にあたる高校
…広島大学附属高等学校, 広島大学附属福山高等学校

(イ) 公立…県・市などが設立し経営にあたる高校
呉市内の県立高校…広, 呉宮原, 呉三津田, 音戸,
呉工業, 呉商業

受験料が安い。⇒2200円
入学時の手続き金が高い。
授業料が安い。
(補助制度によって実質無料になる場合がある。)

郷原中の近くの県立高校…黒瀬, 西条農業
呉市内の市立高校…呉市立呉高校

(ウ) 私立…学校法人が設立し経営にあたる学校
呉市内の私立高校…呉港, 清水ヶ丘, 呉青山
郷原中の近くの私立高校…武田・近畿大附属

受験料が高い。
⇒10000~20000円程度
入学時の手続き金が高い。
⇒21万円~23万円程度
授業料が高い。
(補助制度によって減額される場合がある。)

② 教育内容(学科)の違いによる分類

(ア) 普通科…高等普通教育を実施する学科(中学校の授業内容を発展させた内容)

(イ) 専門学科…専門教育を目的とする学科(工業科, 商業科, 農業科など)

(ウ) 総合学科…普通科と専門学科の両方の内容を合わせ持つ学科(呉市内には市立呉がある)

③ 授業形態や授業時刻の違いによる分類

(ア) 全日制課程…平日の昼間に授業を行う課程。
修業年数は3年間。

(イ) 定時制課程…働きながら学ぼうとする青少年や必要に応じて学習しようとする人のために設置された課程で, 授業が昼間又は夜間に行われる普通科・工業科がある。修業年数は4年間。

(ウ) 通信制課程…働きながら学ぼうとする青少年や必要に応じて学習しようとする人のために設置された課程で, 主としてレポート提出やスクーリングによって授業が行われる課程。修業年数は4年以上。

④ 公立高校の学区について

◎ 平成18年度から県内にあるすべての県立高等学校を受検できるようになっている。
(広島市立など市立の学校の通学区域については, それぞれの市教育委員会が定めます。)

(2) 高等専門学校について

① 高等専門学校とは

高等専門学校の制度は, 我が国の経済の高度成長を背景に昭和37年, 工業発展を支える実践的な技術者の養成をめざし, 「深く専門の学芸を教授し, 職業に必要な能力を育成することを目的」とした後期中等教育段階の教育を含む専門職業教育を行う学校として, 大学・短大と並ぶ高等教育機関として創設された。

5年間(商船学科は5年6ヵ月)一貫した専門職業教育, 理論的な基礎の上に立っての実験・実習・実技を重視した実践的な技術教育, 少人数クラス編成によるきめ細かな教育指導により, 大学と同レベルの教育が行なわれており, 複線型工業教育システムとして高い評価を得ている。(高専紹介誌より抜粋)

② 入学の方法

(ア) 中学校からの入学…学力試験による入学と推薦入学の制度がある。
(イ) 高校からの編入学…高校卒業後, 高専の4年生に編入学可。

③ 卒業後の進路

(ア) 就職

高専卒業生は, 基礎学力を備えた実践的技術者としての技術力が評価され, 求人倍率は年々高くなっている。

(イ) 進学

高専卒業後, さらに進学を希望する場合は, 大学3年次への編入学の道が開かれており, 高専卒業生のために設置された国立技術科学大学をはじめ, 横浜国立大学や広島大学など多くの工学系学部で編入学が実施されている。

(3) 専修学校・各種学校について

通常使われている専門学校の正式名称は「**専修学校専門課程**」です。「**専門学校**」という名称は、専修学校の3つの課程（専門課程，高等課程，一般課程）のうち，専門課程〔**高等学校卒業生対象**〕を設置している**専修学校**しか使用できません。

さらに，私立の専修学校は，所在地の都道府県知事の認可を受けています。主な設置基準は，修業年限1年以上，年間授業時間数800時間（夜間450時間）以上，学生数40名以上となっています。「**各種学校**」も学校教育法に定められた教育機関のひとつです。ただし，専修学校よりも設置基準が緩やかになっています。

① 専修学校高等課程（高等専修学校）卒業生の大学入学資格

高等専修学校のうち

ア 修業年限3年以上

イ 総授業時数2,590時間以上

などの要件を満たしたものの，文部科学大臣が指定した学科の修了者は，高等学校卒業生と同様に大学入学資格が得られることになっています。

② 県内にある，中学校卒で入学可能な専修学校専門課程（専）・専修学校高等課程（高）

（専）広島県理容美容専門学校：通信課程〈理容科・美容科〉

（広島市中区国泰寺町一丁目）

（専）マインドビューティーカレッジ：〈美容師科 通信課程〉

（広島市中区大手町三丁目）

（専）広島県東部美容専門学校：〈美容通信課科〉

（福山市西町二丁目）

（高）広島生活福祉専門学校：〈福祉科〉

（安芸郡海田町大正町）

（高）広島舟入商業高等専修学校：〈ビジネス科〉

（広島市中区舟入中町）

（高・専）小井手ファッションビューティー専門学校：〈ファッションビジネス科〉

（広島市南区金屋町）

（高・専）中川学園広島総合教育専門学校：〈一般教養学科〉

（広島市東区愛宕町）

(4) 特別支援学校高等部について

特別支援学校の高等部は，障害のある生徒が自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし，自立し，社会参加するための基盤となる「生きる力」を培うことをねらいとしている。また，それぞれの専門性に基づき，一人一人の障害の状態等に応じて，様々な工夫と配慮のもとに，きめ細かな教育を行っている。『特別支援教育 学校紹介』広島県教育委員会より

○視覚障害（普通科・保健医療科）

○聴覚障害（普通科・理容科）

○知的障害 ○肢体不自由 ○病弱（普通科）

5 広島県内の高等学校(高等専門学校):原則,昨年度のデータ

(1) 国立高校

所在地	学校名	設置学科
広島市	広島大学附属高等学校	普通科
福山市	広島大学附属福山高等学校	普通科

(2) 国立高等専門学校

所在地	学校名	設置学科
呉市	呉工業高等専門学校	機械工学科・電気情報工学科・環境都市工学科・建築学科
大崎上島町	広島商船高等専門学校	商船学科・電子制御工学科・流通情報工学科

(3) 公立高校 … 呉市内と郷原町に近い学校を中心に紹介します。

① 全日制

所在地	学校名	設置学科
呉市	広島県立広高等学校	普通科
呉市	広島県立呉宮原高等学校	普通科
呉市	広島県立呉三津田高等学校	普通科
呉市	広島県立音戸高等学校	普通科
呉市	広島県立呉工業高等学校	機械・材料工学科, 電気・電子機械科
呉市	広島県立呉商業高等学校	情報ビジネス科
呉市	呉市立呉高等学校	総合学科
東広島市	広島県立黒瀬高等学校	普通科, 福祉科
東広島市	広島県立西条農業高等学校	園芸科, 畜産科, 生活科, 農業機械科, 緑地土木科, 生物工学科, 食品科学科

② 定時制

所在地	学校名	設置学科
広島市	広島市立広島みらい創生高等学校	キャリアデザイン科
呉市	広島県立呉工業高等学校	機械科, 電気科, キャリアデザイン科
東広島市	広島県立賀茂高等学校	普通科

③ 通信制

所在地	学校名	設置学科
広島市	広島市立広島みらい創生高等学校	キャリアデザイン科
福山市	広島県立東高等学校	普通科

(4) 私立高校 … 呉市内, 広島市内, 東広島市内, 安芸郡の学校を紹介します。

① 全日制

所在地	共学の学校	男子校	女子校
呉市	呉青山・普通科 呉港・普通科 清水ヶ丘・普通科・総合ビジネス科	呉港・機械科・電気科	清水ヶ丘・看護科
広島市	広島なぎさ・普通科 AICJ 高等学校・普通科 広島県瀬戸内・普通科 広陵・普通科 広島桜が丘・普通科 崇徳・普通科 広島工大高・普通科 山陽・普通科・総合学科・工学科 広島修道大学ひろしま協創高・普通科	修道・普通科 広島学院・普通科 広島城北・普通科	進徳女子・普通科・総合学科 比治山女子・普通科 安田女子・普通科 広島文教大学附属・普通科
東広島市	武田・普通科 近大附広島東広島校・普通科		
安芸郡	広島国際学院・普通科 広島翔洋・普通科・ビジネス科		

② 通信制 (進路実績から, 主な学校を紹介しています)

- 並木学院高等学校 (広島市)
- 広島工業大学高校[エンカレッジコース] (広島市)
- クラーク記念国際高等学校 (広島市)
- KTCおぞら高等学院 (広島市)
- 飛鳥未来高等学校 (広島市)
- 東林館高等学校 (福山市・呉市)
- 星槎国際高等学校 (広島市)

6 学科の概要

《高等学校》

- ① 普通科……普通教育に関する科目が数多く設けられており、普通科目に関する基礎的、基本的な知識・理解を深め幅広い教養を身につける。
◎普通科にコースを設置している学校がある。例:[理数コース]⇒広島国泰寺, [国際コミュニケーションコース]⇒舟入, [体育コース]⇒沼田
- ② 国際科……国際社会に貢献できる人材の育成を目指している。普通教育に関する学習のほか、総合英語・英語表現・外国事情などの科目を履修し、さらに、中国語・ハンガール語・フランス語の中から1科目を履修する場合もある。 [安芸府中]
- ③ 体育科……体育・スポーツの振興発展に寄与できる人材を育成するとともに、高度な運動(体育コース)技能を修得し、競技力の向上を目指す。そのため、特定の競技種目を選択し、その技能を伸長させるとともに、普通教育に関する学習もする。 [広島皆実・神辺旭]
- ④ 総合学科……普通教育と専門教育を総合的に行なう学科として新しく設置された学科。特定の職業のための教育でなく、幅広く開設された多様な科目の中から自分にあったものを選択して学習し、学んでいく。自分の能力・適性に応じた進路を選択することを目標とする学科。
[高陽東・市立呉・広島観音・尾道北・福山誠之館など]
- ⑤ 衛生看護科…看護に関する専門的な知識や技術を学びながら、生命尊重の考え方や、健康を保持、増進させるための態度を養い、准看護師の受験資格が得られる。 [広島皆実]
- ⑥ 福祉科……家庭・福祉・看護に関する専門的な知識や技術を学びながら、老人ホームなどの施設実習を通して高齢者などの福祉に貢献できる人材の育成をめざす。 [黒瀬]
- ⑦ 商業に関する学科 商業・流通経済・国際経済・情報処理・情報経理・OA秘書・会計・ビジネス会計・サービス観光・情報ビジネス・情報経営・情報管理・流通経営・情報システム・総合ビジネス 等がある。
- ⑧ 農業に関する学科 園芸・畜産・生物生産・食品化学・食品工学・生活・生活科学・地域開発環境工学・農業機械・緑地土木・生物工学・生産流通システム・産業技術産業ビジネス・環境科学・環境デザイン・生産情報・生産流通・食品工学 等がある。
- ⑨ 家庭に関する学科 家政・食物デザイン・生活科学・食物調理・生活文化・生活福祉
- ⑩ 工業に関する学科 機械・機械システム・造船・材料工学・自動車・電子機械・情報電子電気・電気システム・電気エネルギー・情報技術・総合システム・建築・建築システム・建設・土木・都市システム・都市デザイン・インテリア・設備工業・設備システム・電子工業・都市環境・工業化学・環境化学・化学工学・素材システム・生物化学・染織システム等がある。

《高等専門学校》

◎ 工業に関する学科

- ① 機械工学科…大学の工学部に匹敵する教育をめざし、エンジニアとして必要な知識と技術を習得するためのカリキュラムを定めている。機械工学的分野だけでなく複合的な知識と高度な専門知識の必要性に応じてフレキシブルに時代のニーズに対応している。 (呉高専)
- ② 電気情報工学科…将来どんな産業界に身をおいても対応できるような技術者の育成をめざして、基礎的専門科目の学習に重点を置き、講義による理論の修得と平行して多くの実験を行い、理論が身に付いた知識になるように教育課程を編成している。 (呉高専)
- ③ 環境都市工学科…社会基盤の整備に貢献してきた土木工学は、近年の国民の価値観の多様化に伴い、公害や環境破壊などの問題に直面することになった。社会のニーズに応えるため、地域環境、景観工学、情報工学などの学際教育を導入し、土木分野の他に環境系、計画系分野への進出もできる。 (呉高専)
- ④ 建築学科……個人の住宅から都市全体にいたる全ての生活環境を形成するものを対象として、これらを快適で魅力ある「住空間」として創りあげることがめざし、理数系や工学系の知識だけでなく、歴史、文化、あるいは芸術などを幅広く学ぶ。 (呉高専)
- ⑤ 流通情報工学科…21世紀の高度情報化社会を生きる、流通経済のエキスパートを養成する。コンピュータによる情報処理や解析などを学ぶ「情報処理」と、経済を動かす流通システムを学ぶ「流通工学」の2分野を身につける。 (広島商船)
- ⑥ 電子制御工学科…ハイテク社会を生き抜く、電子工学・制御工学の知識を学び、コンピュータを用いた設計や生産、さらにはロボットにも精通した技術者を養成する。 (広島商船)

◎ 商船に関する学科

- ① 商船学科……船舶の運航や管理に関わる知識と技術を身につけ、世界の海で活躍できる船舶運搬および管理のプロフェッショナルを育成する。主に船舶運航についての技術を身につける航海コースと、主に機器管理についての技術を身につける機関コースがある。 (広島商船)

7 入学者選抜(入学試験)のしくみ

(1) 公立高等学校

令和5年度から広島県の公立高等学校の入学者選抜制度が変わりました。

1 広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力

自己を認識し 自分の人生を選択し 表現することができる力

「自己を認識する力」とは・・・

自分は何が好きなのか、自分は
どういう人間なのかなど、自分自
身のことを理解することができる
力のことです。

こうした
力をつける
ために

自分自身のことを理解しようとするのが大切です。そのためにも、普段から自分自身のことや自分の意見などを大切に、学校や家庭で、友だちや先生、家族などに素直に話すことに積極的に取り組みましょう。

「自分の人生を選択する力」とは・・・

自分の夢や目標、自分がやりたい
ことなどについて、自分で考え、
選択し、自分の意志で決めること
ができる力のことです。

こうした
力をつける
ために

学校や家庭の様々な場面で、「自分はどうか考えるのか」「自分はどうかしたいのか」などを意識し、「自分で考え・選び・決める」ことを習慣付けていくことが大切です。自分が出した結論を大切にしながら、様々なことに、積極的に取り組みましょう。

「表現する力」とは・・・

自分自身のことや自分の意見など
を、相手に理解してもらえよう
ように、相手や場面に応じて、言葉
の使い方や表現の仕方などを工夫
しながら伝えることができる力の
ことです。

こうした
力をつける
ために

自分自身のことや自分の意見などを、きちんと相手に伝えることができないと、正しく理解してもらえないことや、誤解を与えてしまうことがあります。「自分の伝えたいことを相手にきちんと伝えるには、どうしたらよいか」ということを意識しながら、伝える内容や方法、話し方などを工夫しましょう。

2 変更した入学者選抜のポイント

- (1) 主体的に志望校を選択…各高等学校の学科・コースの特色に応じた入学者選抜の充実を図り、中学生の一層の主体的な学校選択を実現します。
- (2) 入学者選抜に係る期間を短縮…入学者選抜に係る期間を短縮し、各中学校・高等学校の教育の充実を図ります。
- (3) 調査書を簡素化…調査書に記載する内容を見直します。
- (4) 受検生全員に「自己表現」を実施…受検生全員に自分自身のことを表現する自己表現を「面談方式」で実施します。

☆入学者選抜実施内容シートで、全ての高等学校の教育目標(スクールポリシー)や育てたい生徒像、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)、入学者選抜の実施内容を 事前に公表します。

☆入学者選抜には、一次選抜(一次募集)と二次選抜(二次募集)があります。

☆一次選抜(一次募集)は全ての高等学校で実施します。

- 学力検査、調査書、自己表現の3つの得点の合計点により合格者を決定します。
これらに加え独自検査を実施する学科・コースもあります。その場合には独自検査の結果を加えます。
- 選抜方式は、〔一般枠による選抜〕と〔特色枠による選抜〕の2通りあります。

☆二次選抜(二次募集)は一次選抜(一次募集)の合格者が、入学定員に満たなかった学科・コースで実施します。

令和6年度広島県公立高等学校入学者選抜の基本方針（抜粋）

1 全日制の課程

○一次選抜（併設型高等学校を除く）

（1）選抜の方法

①一般学力検査（広島県教育委員会が作成）

- ・国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の5教科で実施されます。
- ・実施時間は各教科それぞれ50分、配点は各教科50点満点で合計250点満点となります。
- ・外国語（英語）については、放送による聞き取り検査も実施されます。
- ・高等学校長は、一般学力検査に替えて、自校が作成した検査問題で学力検査を実施することができます。

②調査書

- ・第1学年及び第2学年の国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語については、それぞれ指導要録に従って5段階で評定します。
- ・第3学年の国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語については、それぞれ指導要録に従って5段階で評定した評点を3倍します。
- ・調査書の合計評点は225点満点（第1学年45点満点及び第2学年45点満点、第3学年135点満点）になります。

③自己表現

- ・自己を認識する力、自分の人生を選択する力及び表現する力をみるために、自己表現カードを活用し、個人ごとの面談形式で実施されます。
- ・実施時間は、1人当たり10分以内です。
- ・配点は検査官1人当たり15点満点です。
- ・検査官の人数は2～3人です。

④学校独自検査

- ・高等学校の判断で、面接、作文、小論文及び実技検査等を実施することができます。
- ・県教育委員会が作成する一般学力検査に加えて、高等学校が作成した問題による学力検査を実施することもあります。

（2）合格者の決定

①特色枠による選抜

○各学校の特色に応じて、入学定員の50%以内において、次のとおり合格者を決定します。

- ・各高等学校長は、一般学力検査、調査書及び自己表現の配点の比重を定め、一般学力検査、調査書及び自己表現の結果を総合的に判断して決定します。
- ・各高等学校長は、一般学力検査及び調査書について特定の教科のみを活用することができます。また、特定の教科の配点に比重をかける傾斜配点を実施することもできます。

②一般枠による選抜

- ・一般学力検査、調査書及び自己表現の配点の比重は6:2:2とし、一般学力検査、調査書及び自己表現の結果を総合的に判断して決定します。
- ・各高等学校長は、一般学力検査について、特定の教科の配点に比重をかける傾斜配点を実施することができます。

③特色枠による選抜を実施した学科・コースにあつては、特色枠による選抜により合格者を決定した後、一般枠による選抜により合格者を決定します。

④学校独自検査を実施した学科・コースにあつては、その結果を選抜の資料に加えて、総合的に判断して決定します。

<併設型高等学校>

- ・広島県立三次高等学校及び広島県立広島高等学校については、原則として自校が作成した検査問題により学力検査を実施します。実施教科は、国語、数学及び外国語（英語）の3教科とします。
- ・社会及び理科の一般学力検査を加えて実施することができます。等

○二次選抜（一次選抜の結果、合格者の数が入学定員に満たない場合により実施されます。）

（1）選抜の方法

一次選抜の「調査書」「自己表現」「学校独自検査」に準じます。ただし、学力検査は実施しません。

（2）合格者の決定

- ・各高等学校長は、調査書及び自己表現の配点の比重を定め、調査書及び自己表現の結果を総合的に判断して決定します。
- ・学校独自検査を実施した学科・コースにあつては、その結果を選抜の資料に加えて、総合的に判断して決定します。

2 定時制の課程

全日制課程の一次選抜（併設型高等学校を除く）及び二次選抜と同様とします。

自己表現の実施について(昨年度のものです)

自己表現は、「広島県の15歳の生徒に身に付けさせたい力」である「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」がどのくらい身に付いているかをみるため、次により実施する。

1 実施方法

(1) 実施形態

原則として、個人ごとに面談形式で実施する。

(2) 検査官の人数

2～3名の範囲内で、高等学校長が定める。

(3) 自己表現の内容及び方法

受検者は、自分自身のこと（得意なことやこれまで取り組んできたことなど）や高等学校に入学した後の目標などについて、自分で選んだ言葉や方法で表現する。

(4) 実施の流れ（一次選抜の場合）

受検者は、第1日に、各検査場において2で定める自己表現カードを作成し提出する。

高等学校長は、第2日に自己表現カードを活用した自己表現を実施する（ただし、高等学校及び志願状況等により第3日に実施することがある。以下同じ。）。

なお、提出された自己表現カードについて、高等学校長は、その写しを第2日の自己表現の実施前に受検者に返却する。

自己表現カードの作成時間及び自己表現の時間等は次のとおりとする。

ア 自己表現カードの作成時間

30分

イ 自己表現の時間

5分以内

ウ 自己表現後の質問及び質問・回答の時間

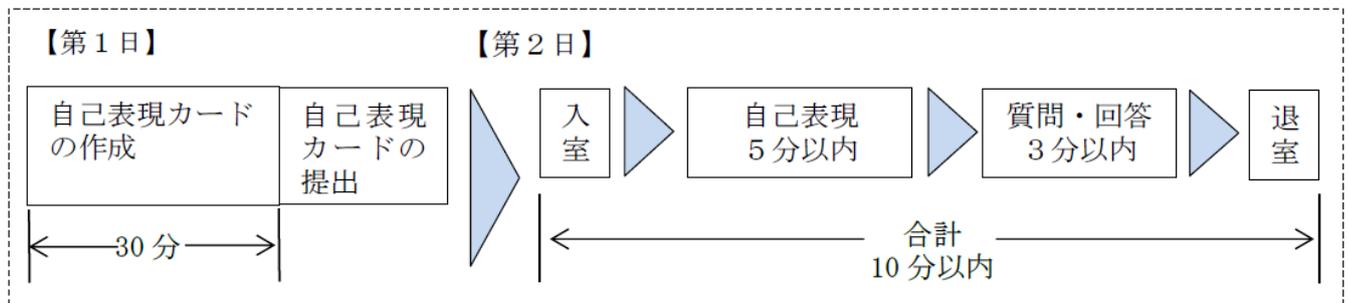
検査官は、受検者が自己表現した内容に対する補足的な質問を行う。

時間は、受検者がそれぞれの質問に回答する時間を含め3分以内とする。

エ 1人当たりの自己表現にかかる総時間

10分以内（自己表現5分以内、質問・回答3分以内、入退室2分以内）を基本とする。ただし、高等学校及び志願状況等により多少前後することがある。

※ 実施の流れ「イメージ」



(5) 評価及び配点等

評価は、別紙「自己表現 評価の在り方」に基づき行う。

配点及び配点の比重は、各高等学校の入学選抜実施内容シートにより公表する。

2 自己表現カード

受検者が自己表現を行うに当たって、補助的な資料として作成する。

(1) 様式

別紙様式「自己表現カード」による。

(2) 留意事項

自己表現カードに書かれた内容など自己表現カード自体は、自己表現の評価の対象としない。

3 自己表現の基本的なガイドライン

(1) 実施可能な表現方法について

原則、受検者本人が一人で時間内に準備し、実施できるものとする。

ただし、検査場内で実施できないもの、他の受検者に影響があるもの、安全面で問題があるもの等は実施できない。

なお、必要に応じて、(2)で定める物品を使用することができる。

(2) 使用可能な物品について

必要に応じて、次の物品を使用することができる。

ただし、原則として、検査会場の備品等は使用できない（黒板、コンセント等、検査場内にあるものを含む。）。

ア 原則、受検者本人が一人で検査場まで持ち運ぶことができるもの。

ただし、台車等は使用できない。

イ 安全面で問題がないもの、管理上問題がないもの。

なお、次の場合に限り、タブレット等を使用することができる。

- ・プレゼンテーションソフトを使用し、画面を提示しながら実施する場合
- ・写真等の画像、音声及び動画を提示する場合（ただし、音声及び動画は30秒以内とする。）

4 特別措置について

志願者で、疾病又は障害等を理由に特別措置を希望する者は、事前に入学者選抜に関する特別措置願を、必要に応じて志願先高等学校又は志願先高等学校を所管する教育委員会に提出する。提出方法は別に定める。

自己表現 評価の在り方

1 考え方

- 「広島県の15歳の生徒に身に付けさせたい力」である「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」が、どのくらい身に付いているかを評価する。
- 「評価の観点」は、次のア、イ及びウの3つとし、その「評価規準」と合わせて全校共通とする。
- 検査官からの質問に対する受検者の回答も評価に含める。
- 「評定」は、4点を基準とし、評価の観点ごとに、5点（「十分に満足できる」状況と判断されるもの）、4点（「おおむね満足できる」状況と判断されるもの）及び3点（「努力を要する」状況と判断されるもの）のいずれかで評価する。
- 自己表現の得点（評定の合計）は、簡易開示の対象とする。

2 配点

- 検査官1人当たり15点満点（3観点×5点満点）

3 評価表

評価の観点			
	ア 自己を認識する力	イ 自分の人生を選択する力	ウ 表現する力
評価規準			
	自分は何が好きなのか、自分はどのような人間なのかなど、自分自身のことを認識することができる。	自分の夢や目標、自分がやりたいことなどについて、自分で考え、選択し、自分の意志で決めることができる。	自分自身のことや自分の意見などを、相手に理解してもらえるように、相手や場面に応じて、言葉の使い方や表現の仕方などを工夫しながら伝えることができる。
評価及び評価の視点			
評定			
5点	<input type="checkbox"/> 「十分に満足できる」状況 <input type="checkbox"/> 「自分自身のことを認識する」ことが十分にできている。	<input type="checkbox"/> 「十分に満足できる」状況 <input type="checkbox"/> 「自分で考える」「自分で選択する」「自分の意志で決める」ことが十分にできている。	<input type="checkbox"/> 「十分に満足できる」状況 <input type="checkbox"/> 「相手や場面に応じて」「言葉の使い方や表現の仕方などを工夫しながら」伝えることが十分にできている。
4点	<input type="checkbox"/> 「おおむね満足できる」状況 <input type="checkbox"/> 「自分自身のことを認識する」ことがおおむねできている。	<input type="checkbox"/> 「おおむね満足できる」状況 <input type="checkbox"/> 「自分で考える」「自分で選択する」「自分の意志で決める」ことがおおむねできている。	<input type="checkbox"/> 「おおむね満足できる」状況 <input type="checkbox"/> 「相手や場面に応じて」「言葉の使い方や表現の仕方などを工夫しながら」伝えることがおおむねできている。
3点	<input type="checkbox"/> 「努力を要する」状況 <input type="checkbox"/> 「自分自身のことを認識する」ことができていない。	<input type="checkbox"/> 「努力を要する」状況 <input type="checkbox"/> 「自分で考える」「自分で選択する」「自分の意志で決める」ことができていない。	<input type="checkbox"/> 「努力を要する」状況 <input type="checkbox"/> 「相手や場面に応じて」「言葉の使い方や表現の仕方などを工夫しながら」伝えることができていない。

広島県公立高等学校入学者選抜制度の比較

	令和4年度までの制度	令和5年度からの制度
実施内容 ○必須 △実施可能	選抜(Ⅰ)[推薦] ・学科ごとに定員の20%~50%	選抜(Ⅰ)と選抜(Ⅱ)を統合し、 「一次選抜」として実施
	○推薦書・志望理由書	
	○面接	
	○調査書 △学力検査以外の独自方法	
	選抜(Ⅱ)[一般] ・選抜(Ⅰ)入学確約者を除いた数	一次選抜 ・入学定員の100%で実施
	—	○教育目標(スクールポリシー)、育てたい生徒像、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)等の明示 △一般枠と特色枠による2段階選抜
	○一般学力検査	○学力検査 △学力検査における活用教科の設定
	△学力検査の傾斜配点(2教科以内・2倍以内)	△学力検査における傾斜配点
	○一般学力検査と調査書の比重 (一般学力検査:調査書=125:130)	○学力検査、調査書及び自己表現の比重 (学力検査:調査書:自己表現=6:2:2)
	△定員の20%以内で一般学力検査と調査書の比重変更	△学力検査や調査書等の比重の設定
—	○自己表現カードの作成 ○自己表現カードを活用した自己表現の実施	
△面接 △実技検査 △自校作成問題による学力検査	△独自検査の実施 (独自の学力検査、面接、小論文、作文、実技等)	
○調査書	○調査書(対象学年:第1学年から第3学年まで) (第1学年:第2学年:第3学年=1:1:3) △調査書による傾斜配点 △調査書における活用教科の設定	
選抜(Ⅲ)[二次募集] ・選抜(Ⅰ)(Ⅱ)合格者が入学定員に満たなかった場合に実施	二次選抜 ・一次選抜の合格者が入学定員に満たなかった場合に実施	
—	○教育目標(スクールポリシー)、育てたい生徒像、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)等の明示	
○面接	○自己表現の実施	
○調査書	○調査書(対象学年:第1学年から第3学年まで) (第1学年:第2学年:第3学年=1:1:3)	
○作文 △選抜(Ⅱ)の学力検査結果の活用	△独自検査の実施 (学力検査以外の学校独自検査 等)	
調査書 ○必須 △実施可能	○記載内容 ・学習の記録 ・行動の記録 ・欠席 ・総合的な学習の時間の記録 ・特別活動の記録 ・スポーツ・文化・ボランティア活動等の記録	○記載内容(案) ・学習の記録(評定) ・特記事項 ※「特別活動の記録」などは自己表現カードに記述してよい
	○対象学年:第1学年から第3学年まで	○対象学年:第1学年から第3学年まで (第1学年:第2学年:第3学年=1:1:3)
	○「学習の記録」の評定は9教科を指導要録に従い5段階で評定 [選抜(Ⅱ)は4教科の評点を2倍]	○「学習の記録」の評定は9教科を指導要録に従い5段階で評定 △傾斜配点 △活用教科の設定
	○「学習の記録の観点別学習状況」等は選抜の資料として活用	—

原則，昨年度のデータです。

(2) **国立高等専門学校** (県内には，呉工業高等専門学校と広島商船高等専門学校の2校がある。)

① 推薦による入学者選抜(要項から抜粋)

(ア) 出願資格

令和5年3月に中学校を卒業する見込みの者で，次の条件を満たし，在学中中学校長の推薦を受けた者

- ㊦ 当該学科を志望する動機・理由が明確，適切であること
- ㊧ 当該学科に対する適性，興味，関心及び学習意欲を有すること
- ㊨ 学習成績が優秀であり，調査書の各記録が良好であること
- ㊩ 合格した場合，入学を確約できること

(イ) **推薦による定員枠** … 入学定員の50%程度(呉高専)，75%以内(広島商船)

(ロ) **選抜方法** …面接，調査書の総合判定によって行われる。(※学校や推薦の種類によります)

② 学力検査による入学者選抜

(ア) 学力検査及び調査書の総合判定によって合格者が決定される。

(イ) 学力検査は国語・社会・数学・理科・英語の5教科で実施される。

* 検査問題は全国の国立高専同一の問題。

(3) **国立高等学校・私立高等学校・専修学校**⇒各学校独自の方式・日程で入学者の選抜を実施する。

① 推薦入試

(ア) それぞれの学校で，独自の推薦基準があり在学中中学校長の推薦を必要とする。

(イ) 合格したらその学校に入学することを誓約して受験する。

(ロ) 選抜方法は，学力試験，面接，調査書等，学校ごとにさまざまな方法がとられている。

(エ) 県内の私立高校の調査書の学習の記録の評定は **135 点満点**(5段階×9教科×3年間) ⇒統一書式

② 一般入試

(ア) 学力試験を中心に調査書や面接などを資料にして合格者を決定する。

(イ) 学力試験の科目数は，各学校によって異なる。試験問題も各学校独自の問題が出題される。

(ロ) 「合格＝入学」というシステムではない。合格通知を受け取ったあと，入学手続金など所定の手続きをすることで入学の資格を得ることになる。

(エ) 私立高校では，一般入試の中に，国・公立学校に合格した際には，その高校への進学は認めるが私立学校については「本校のみ」を受験するという「**専願入試**」を実施している学校が多い。

「**専願入試**」⇒国・公立を不合格になったら，その学校に入学することを誓約して受験する。

8 公立高校入学者選抜 学校別志願状況(過去3年間)

(1) 選抜(I)

学校名	学科名				令和4年度			令和3年度		
					推薦枠	志願者	倍率	推薦枠	志願者	倍率
広	普通				40	81	2.03	40	57	1.43
呉宮原	普通				40	52	1.30	40	47	1.18
呉三津田	普通				48	70	1.46	40	61	1.53
(呉昭和)	普通				-	-	-	16	25	1.56
呉工業	機械 材料工学 電気 電子機械				40	26	0.65	40	15	0.38
					20	13	0.65	20	19	0.95
呉商業	商業 情報処理 会計				情報ビジネス科のみ			20	33	1.65
					80	72	0.90	40	40	1.00
								20	21	1.05
呉市立呉	総合学科				80	128	1.60	80	91	1.14
黒瀬	普通 福祉				16	16	1.00	16	20	1.25
					16	13	0.81	16	8	0.50

西条農業	園芸	20	28	1.40	20	21	1.05
	畜産	20	39	1.95	20	15	0.75
	生活	20	24	1.20	20	21	1.05
	農業機械	20	29	1.45	20	24	1.20
	緑地土木	20	30	1.50	20	24	1.20
	生物工学	20	22	1.10	20	22	1.10
	食品科学	20	16	0.80	20	19	0.95

令和5年度より実施がありません。

(2) **一次選抜・選抜(Ⅱ)** 選抜(Ⅱ)の定員は、選抜(Ⅰ)の合格内定者を除いた数です。

学校名	学科名	令和5年度一次選抜				令和4年度(選抜Ⅱ)				令和3年度(選抜Ⅱ)			
		定員	志願者	受検者	倍率	定員	志願者	受検者	倍率	定員	志願者	受検者	倍率
広	普通	200	201	194	0.97	160	167	164	1.03	160	154	149	0.93
呉宮原	普通	200	228	224	1.12	160	153	151	0.94	160	185	183	1.14
呉三津田	普通	240	211	206	0.86	192	168	165	0.86	160	167	155	0.97
(呉昭和)	普通					-	-	-	-	64	58	57	0.89
呉工業	機械	80	39	37	0.46	57	21	20	0.35	65	22	20	0.31
	材料工学 電気 電子機械		36	32	0.80	29	11	11	0.38	22	25	23	1.05
呉商業	商業 情報処理 会計	情報ビジネス科のみ				情報ビジネス科のみ				20	26	25	1.25
		160	169	168	1.05	88	60	58	0.66	40	38	36	0.90
										20	16	16	0.80
呉市立呉	総合学科	160	138	138	0.86	80	122	118	1.48	80	75	72	0.90
黒瀬	普通 福祉	80	57	52	0.65	64	50	49	0.77	64	47	42	0.66
		40	23	22	0.55	27	7	6	0.22	32	11	11	0.34
西条農業	園芸	40	39	39	0.98	20	21	21	1.05	20	15	14	0.70
	畜産	40	38	36	0.90	20	30	29	1.45	25	21	21	0.84
	生活	40	39	38	0.95	20	12	11	0.55	20	9	9	0.45
	農業機械	40	38	38	0.95	20	19	18	0.90	20	21	21	1.05
	緑地土木	40	40	40	1.00	20	20	20	1.00	20	12	8	0.40
	生物工学	40	30	30	0.75	20	11	11	0.55	20	18	16	0.80
	食品科学	40	51	49	1.23	24	17	17	0.71	21	15	15	0.71

9 奨学金制度について(昨年度のデータもあります)

奨学金制度とは・・・経済的理由等で修学困難な人たちの『教育の機会均等』をはかるために、各種奨学金が創設されています。奨学金を受けるには、成績や生活面など一定の基準がありますから、該当要件を確認してください。

(1) 広島県高等学校等奨学金<昨年度の資料>

① 対象	高等学校, 高等専門学校, 特別支援学校高等部または専修学校高等課程への進学者
② 金額	国公立→自宅通学 18,000 円/月 自宅外通学 23,000 円/月 私立 →自宅通学 30,000 円/月 自宅外通学 35,000 円/月 無利子貸与

(2) 独立行政法人日本学生支援機構(旧日本育英会)高等専門学校進学者奨学金<昨年度>

① 対象	高等専門学校への進学者 (※1～3年の限度額を記載)
② 金額	自宅通学 21,000 円/月 自宅外通学 22,500 円/月 無利子貸与

(3) あしなが育英会奨学金

① 対象	保護者が病気や災害もしくは自死などで死亡したり、または保護者が著しい障がい認定を受けていて、経済的な援助を必要としている家庭の子ども
② 金額	30,000 円/月 (給付)

(4) 交通遺児育英会奨学金

① 対象	保護者が交通事故で死亡、重度後遺障害となった家庭の生徒
② 金額	20,000 円～40,000 円/月 (貸与・うち1万円は給付)

(5) 渋谷育英会

① 対象	学業・人物ともに優秀で、かつ、健康であって学資金の援助が必要と認められる者
② 金額	20,000 円/月 無利子貸与

(6) くれしん育英会<昨年度の資料>

① 対象	呉市に在住する母子家庭の子弟で、高校に進学し、経済的に苦しいと認められる者
② 金額	7,000 円/月 給付

※各高等学校等で独自に奨学金制度を設けている場合があります。また、経済的理由により学費負担が困難な人を対象として、授業料や入学時納入金を軽減する制度があります。

10 令和5年度の高校の学費

	学校名等	受検(験)料	入学手続き金等	入学金等	授業料	諸費用 (4月当初)
公立	国公立全日制高校	2,200 円	—	5,650 円	9,900 円	各校毎
	公立定時制高校	950 円	—	2,100 円	2,700 円 *履修単位毎に変化します	各校毎
	呉高専	16,500 円	—	84,600 円	年 234,600 円	年 41,500 円
私立	武田	19,000 円	70,000 円	170,000 円	36,000 円	7,800 円 他にスクールバス代要
	呉港	19,000 円	80,000 円	131,000 円	普通科 34,500 円 工業系 34,500 円	6,000 円 6,500 円
	清水ヶ丘	推薦 17,000 円 一般 17,000 円	65,000 円	162,000 円	普通科 36,000 円 総じ科 36,000 円 看護科 38,000 円	2,300 円 2,300 円 12,300 円
	呉青山	推薦 17,000 円 一般 17,000 円	65,000 円	162,000 円	36,000 円	1,800 円

※ これ以外に、制服・体操服代、教科書・補助教材代等が必要です。

※ 学費負担を軽減する制度があります。(高等学校等就学支援金、授業料等軽減補助金など) 家庭の収入状況に応じて授業料が軽減されます。入学決定後に申請してください。

11 令和6年度広島県公立高等学校(広島叡智学園高等学校を除く。)

入学者選抜日程

1 選抜日程

(1) 全日制の課程, 定時制の課程, フレキシブル課程 (定時制・通信制)

一次選抜

学力検査・自己表現等	2月27日(火)～2月29日(木)
追 検 査	3月5日(火)
合 格 者 発 表	3月8日(金)

※ インターネット出願です。出願登録期間は, 1月24日(水)～2月9日(金)正午です。

二次選抜

自 己 表 現 等	3月18日(月)
	3月22日(金) 広島市立広島みらい創生高等学校
合 格 者 発 表	3月19日(火)
	3月25日(月) 広島市立広島みらい創生高等学校

(2) 通信制の課程

自 己 表 現 等	高等学校長が別に定める。
合 格 者 発 表	3月末日までに行う。

2 参考: 一次選抜(併設型高等学校を除く。)における学力検査・自己表現等時間割(令和5年入試のときの資料です。)

令和5年2月27日(月)			2月28日(火)	3月1日(水)
時限	時 刻	検査教科等	検 査 等	検 査 等
	学校で異なります	集合・注意		
1	9:10 10:00	国 語	自己表現 及び 学校独自検査 (実施する高等学校)	予備日 自己表現 及び 学校独自検査 (実施する高等学校)
2	10:20 11:10	社 会		
3	11:30 12:20	数 学		
4	13:10 13:40	自己表現カ ードの記入		
5	14:00 14:50	理 科		
6	15:10 16:00	英 語		

12 令和6年度広島県私立高等学校入学試験日程

		高等学校（全日制）			高等学校 通信制
		共学校	男子校	女子校	
11月20日	月				山陽女学園（第1回）
12月18日	月				山陽女学園（第2回）
12月20日	水				並木学院福山【推】（一次）
1月13日	土	広島新庄【推】 盈進 近大附福山(特別入試:面接)			
1月14日	日	近大附東広島 銀河学院			
1月15日	月	尾道【推】 近大附福山(特別入試:面接)		暁の星女子	
1月16日	火	呉港（普通） 近大附福山(一般入試:学科)			広島工大高（A日程）
1月17日	水	呉青山 武田 如水館			広島工大高（A日程）
1月18日	木	清水ヶ丘 尾道 英数学館（Ⅰ期）	呉港（機械・情報システム）		広島工大高（A日程）
1月19日	金				並木学院【推】
1月22日	月				山陽女学園（第3回）
1月28日	日	三育学院（Ⅰ期）			
1月29日	月	三育学院（Ⅰ期）			
1月30日	火	修大協創【推】 崇徳【推】 広陵【推】 山陽【推】 瀬戸内【推】 桜が丘【推】 広島工大高【推】 広島なぎさ【推】 翔洋【推】 国際学院【推】	広島城北【推】	進徳女子【推】 安田女子【推】 比治山女子【推】 広島文教【推】 山陽女学園【推】	
1月31日	水				東林館 並木学院福山【推】（二次）
2月3日	土	広島新庄			
2月7日	水				並木学院（Ⅰ）
2月13日	火	修大協創 瀬戸内 桜が丘 広島工大高		山陽女学園	
2月14日	水	修大協創 崇徳 瀬戸内 桜が丘 広島工大高 広島なぎさ 翔洋	修道	比治山女子 山陽女学園	
2月15日	木	広陵 山陽 AICJ 国際学院	広島城北	進徳女子 安田女子 広島文教	広島工大高（B日程）
2月16日	金	広陵 山陽 国際学院		進徳女子	東林館
2月17日	土	英数学館（Ⅱ期）			
2月19日	月	三育学院（Ⅱ期）			山陽女学園（第4回）
3月5日	火				並木学院（Ⅱ）
3月14日	木	銀河学院（3月入試）			広島工大高（C日程）
3月18日	月	清水ヶ丘（二次） 三育学院（Ⅲ期）			山陽女学園（第5回）
3月21日	木	銀河学院（3月入試・県外対象）			広島工大高（D日程）
3月25日	月				並木学院（Ⅲ）
随時 （要学校確認）					国際学院（要事前連絡） 東林館（2/20以降） 並木学院(個別型) 並木学院福山(一般専願2/1以降) 並木学院福山(一般併願2/9以降)

1. 広島女学院、ノートルダム清心、広島学院の各高等学校では募集を行いません。中学校入試のみの実施となります。
2. 【推】は推薦入試のみの実施日です。
3. 校名のみ記載の場合は、一般入試及び推薦入試、または一般入試のみを実施します。
4. 日程や実施内容等についての詳細は必ず各校のホームページや募集要項にてご確認ください。
5. 通信制の東林館高等学校、並木学院高等学校、並木学院福山高等学校、広島工業大学高等学校（通信課程）、広島国際学院高等学校（通信課程）、山陽女学園（通信課程）は上記以外にも随時実施します。学校へご確認ください。
6. 今後、情報は随時更新します。
7. 5月1日現在の情報によります。

※ 広島県私立中学高等学校協会の H.P.からの情報です。

13 推薦基準について

令和6年度入試等推薦基準

呉市立郷原中学校

- 1 当該学校，学科，コースを志望する動機，理由が明白かつ適切であること。
 - (1) 第1志望であること。
 - (2) 合格したら，必ず手続きを行い入学すること。
 - (3) 高等学校等が示す出願基準を満たしていること。
- 2 学習意欲が認められ，学習成績が良好であること。
 - (1) 高等学校等が独自に基準を定めている場合は，その基準を満たしていること。
 - (2) すべての教科の授業態度や，学習への取組が良好であること。
 - (3) 学習面への指導に対して，素直な態度で改善が見られること。
- 3 生活態度が良好であること。
 - (1) 高等学校等が独自に基準を定めている場合は，その基準を満たしていること。
 - (2) 次の基準を満たしていること。
 - ① 校則を守っていること。
 - ② 時間を守って行動していること。
 - ③ 挨拶や丁寧な言葉遣いができていること。
 - ④ 掃除や委員会，係活動など責任をもって行っていること。
 - (3) 生活面への指導に対して，素直な態度で改善が見られること。

4 その他

推薦の可否は，校内に「推薦検討委員会」を設置し，協議の上，学校長が決定する。

※なお，上記基準は，国・私立の，推薦入試を実施する学校を希望する際に適用するものとします。（県内の公立高等学校は，令和5年度入学者選抜からは推薦選抜を行っていません。）

14 進路関係の今後の取組日程

月	日	行事・手続きなど
6月	7日(水) 15日(木) 15日(木)	第1回実力テスト 第1回進路説明会 第2回進路希望調査 オープンスクール(各学校)
7月	20～22日	学期末懇談会 オープンスクール(各学校)
8月		オープンスクール(各学校)
9月	1日(金)	第2回実力テスト
10月	12日(木) 12日(木)	第2回進路説明会(高等学校の先生に説明に来ていただく予定です。) 第3回進路希望調査
11月	1日(水) 13日(月) 24～28日	第3回実力テスト 第4回進路希望調査(最終) 事前懇談(希望者)
12月	19～21日 下旬	学期末懇談会(受検(験)校等決定) 私立高等学校願書作成・提出準備
1月	上旬 中旬 25日(木)～ 30日(火)	公立高等学校一次選拔出願準備 呉地区私立高等学校入試(推薦・一般) 公立高等学校一次選拔出願登録 広島地区私立高等学校入試(推薦)
2月	2日(金) 中旬 27日～29日	第4回実力テスト 広島地区私立高等学校入試(一般) 公立高等学校一次選抜等(学力検査, 自己表現, 学校独自検査等)
3月	7日(木) 8日(金) 13日(水)～ 18日(月) 19日(火) 22日(金) 25日(月)	卒業証書授与式 公立高等学校一次選抜等合格者発表 公立高等学校二次選拔出願登録 公立高等学校二次選抜 公立高等学校二次選抜合格者発表 広島市立広島みらい創生高等学校二次選抜 広島市立広島みらい創生高等学校二次選抜合格者発表

(6月上旬現在の予定です。変更になることがあります。)

